

下田市個別施設計画(第Ⅰ期後期)R7

【施設情報】

施設名	稲梓基幹集落センター	所管課	産業振興課
建築年	1999 年(平成 11 年)	延床面積	606.39 m ²
計画期間	短期(第Ⅰ期前期) ・ 中期(第Ⅰ期後期) ・ 長期(第Ⅱ期以降)		
現状と課題	地域住民で組織された認定団体、地区 PTA、学習団体等のコミュニティ活動に利用されている。 近年、生きがい工作研究室及び農作物加工研究室の利用者が非常に少なくなった。 農作物加工研究室については利用していた団体が活動しなくなったため、新たな利用を図る必要がある。コロナ禍で一時、利用者は減少したが、R4年度以降継続して利用者は増加し、減少以前の利用人数に回復している。		
今後の方針	存続(建替え含む) ・ 売却／譲与 ・ 転用 ・ 集約 ・ 複合化 ・ 廃止		
方針概要	地域住民にとって欠かせない施設であり、災害時の避難所施設となっているため、存続の方針とする。老朽化等による施設修繕については随時対応していくこととする。 なお、公共施設の適正な配置や有効活用のため、当該施設へ他の施設を集約又は複合化について検討していくこととする。		
関連他施設等(関係課)	福祉事務所(更生保護サポートセンター)		

【施設情報】

施設名	下田市立中央公民館	所管課	生涯学習課
建築年	1955 年(昭和30年)	延床面積	1,117.89 m ²
計画期間	短期(第Ⅰ期前期) ・ 中期(第Ⅰ期後期) ・ 長期(第Ⅱ期以降)		
現状と課題	市民の生涯学習の場として利用されている。 建物自体が古く、施設や設備は耐用年数を大幅に経過し、修繕や交換が必要になっている。公民館統廃合により市内唯一の公民館となった。教育委員会事務局移転後の建物活用について、検討が必要となる。		
今後の方針	存続(建替え含む) ・ 売却／譲与 ・ 転用 ・ 集約 ・ 複合化 ・ 廃止		
方針概要	公民館機能としては、必要な修繕、改修等を実施しながら施設の維持をしていく。教育委員会事務局の移転後は、図書館機能や生涯学習機能を併せた、施設の集約化、複合化を目指していく。		
関連他施設等(関係課)	下田市立図書館(生涯学習課)		

下田市個別施設計画(第Ⅰ期後期)R7

【施設情報】

施設名	下田市立稻生沢公民館	所管課	生涯学習課
建築年	1994 年(平成6年)	延床面積	455.18 m ²
計画期間	短期(第Ⅰ期前期) ・ 中期(第Ⅰ期後期) ・ 長期(第Ⅱ期以降)		
現状と課題	生涯学習の場として利用されている。 公民館統廃合により公民館機能は廃止とする施設となっている。 耐震性を有する施設であり、公有財産有効活用検討委員会で活用方法を検討中。		
今後の方針	存続(建替え含む) ・ 売却／譲与 ・ 転用 ・ 集約 ・ 複合化 ・ 廃止		
方針概要	活用方法が決定し、新たな機能としての使用開始時期に合わせて公民館機能は廃止する。		
関連他施設等 (関係課)			

【施設情報】

施設名	下田市立朝日公民館	所管課	生涯学習課
建築年	1989 年(平成元年)	延床面積	482.67 m ²
計画期間	短期(第Ⅰ期前期) ・ 中期(第Ⅰ期後期) ・ 長期(第Ⅱ期以降)		
現状と課題	生涯学習の場として利用されている。 公民館統廃合により公民館機能は廃止とする施設となっている。 耐震性を有する施設であるが、建築から30年が経過し、施設及び設備の老朽化が目立つ。		
今後の方針	存続(建替え含む) ・ 売却／譲与 ・ 転用 ・ 集約 ・ 複合化 ・ 廃止		
方針概要	公有財産有効活用検討委員会等での活用方針の決定により、公民館機能は廃止する。		
関連他施設等 (関係課)			

下田市個別施設計画(第Ⅰ期後期)R7

【施設情報】

施設名	下田市立中公民館	所管課	生涯学習課
建築年	1975 年(昭和 50 年)	延床面積	500.76 m ²
計画期間	短期(第Ⅰ期前期) ・ 中期(第Ⅰ期後期) ・ 長期(第Ⅱ期以降)		
現状と課題	令和 2 年度に公民館の用途廃止、解体済。		
今後の方針	存続(建替え含む) ・ 売却／譲与 ・ 転用 ・ 集約 ・ 複合化 ・ 廃止		
方針概要			
関連他施設等 (関係課)			

【施設情報】

施設名	下田市立白浜公民館	所管課	生涯学習課
建築年	1979 年(昭和 54 年)	延床面積	239.90 m ²
計画期間	短期(第Ⅰ期前期) ・ 中期(第Ⅰ期後期) ・ 長期(第Ⅱ期以降)		
現状と課題	公民館統廃合により令和3年4月1日に公民館機能を廃止し、建物は原田区へ譲与		
今後の方針	存続(建替え含む) ・ 売却／譲与 ・ 転用 ・ 集約 ・ 複合化 ・ 廃止		
方針概要	公民館統廃合により、令和3年4月1日に公民館機能を廃止し、建物は原田区へ譲与		
関連他施設等 (関係課)			

下田市個別施設計画(第Ⅰ期後期)R7

【施設情報】

施設名	下田市立本郷公民館	所管課	生涯学習課
建築年	1968 年(昭和 43 年)	延床面積	513.74 m ²
計画期間	短期(第Ⅰ期前期) ・ 中期(第Ⅰ期後期) ・ 長期(第Ⅱ期以降)		
現状と課題	令和4年3月 29 日建物解体完了		
今後の方針	存続(建替え含む) ・ 売却／譲与 ・ 転用 ・ 集約 ・ 複合化 ・ 廃止		
方針概要	公民館統廃合により、令和3年4月1日に公民館機能を廃止し、令和4年3月 29 日に建物解体が完了、土地については令和4年3月 29 日に普通財産へ切り替えた。		
関連他施設等 (関係課)			

【施設情報】

施設名	下田市民文化会館	所管課	生涯学習課
建築年	1989 年(平成元年)	延床面積	4,749.63 m ²
計画期間	短期(第Ⅰ期前期) ・ 中期(第Ⅰ期後期) ・ 長期(第Ⅱ期以降)		
現状と課題	下田市の文化活動の拠点であり、毎年約 10 万人の利用者がある。 建設から約 30 年が経過し、建物本体の一部をはじめ全ての機器が耐用年数を大幅に過ぎた状態となっており、安全面や適正な運営に支障を来す恐れが生じている。		
今後の方針	存続(建替え含む) ・ 売却／譲与 ・ 転用 ・ 集約 ・ 複合化 ・ 廃止		
方針概要	施設の円滑な運用、利用者の安全と利便性の向上のため、計画的に改修を行い長寿命化を図る。		
関連他施設等 (関係課)			

下田市個別施設計画(第Ⅰ期後期)R7

【施設情報】

施設名	下田市立図書館	所管課	生涯学習課
建築年	1976 年(昭和 51 年)	延床面積	762.88 m ²
計画期間	短期(第Ⅰ期前期) ・ 中期(第Ⅰ期後期) ・ 長期(第Ⅱ期以降)		
現状と課題	建設から 40 年以上が経過し、施設の老朽化、耐震性能の不足等、安全性、利便性の面から限界にきている状況である。 また、社会情勢が大きく変化する中で、図書の貸出だけではなく、地域の情報拠点として、市民の各世代の交流の場、郷土への愛着・誇りの醸成、まちづくりや活性化の中核としての新たな役割も求められている。		
今後の方針	存続(建替え含む) ・ 売却／譲与 ・ 転用 ・ 集約 ・ 複合化 ・ 廃止		
方針概要	中央公民館の教育委員会事務局移転後の施設活用と併せ、図書館機能や生涯学習機能を併せた、施設の集約化、複合化を目指していく。		
関連他施設等(関係課)	中央公民館(生涯学習課)		

【施設情報】

施設名	下田市立青少年海の家	所管課	生涯学習課
建築年	1930 年(昭和5年)	延床面積	601.0 m ²
計画期間	短期(第Ⅰ期前期) ・ 中期(第Ⅰ期後期) ・ 長期(第Ⅱ期以降)		
現状と課題	戦前の貴重な木造校舎の建物。本来の目的としての施設利用はほとんどない状況。建物は耐震性がなく、老朽化している。敷地内の一部私有地について対応が必要。		
今後の方針	存続(建替え含む) ・ 売却／譲与 ・ 転用 ・ 集約 ・ 複合化 ・ 廃止		
方針概要	一部私有地の調査・整理を行い、その後、用途廃止の方向で進める。 令和5年度に旧登自尋常高等小学校調査業務委託において建物の記録保存調査を行い、調査報告に基づき建物の改修・解体等、用途廃止後の方針を検討する。		
関連他施設等(関係課)			

下田市個別施設計画(第Ⅰ期後期)R7

【施設情報】

施設名	下田市吉田松陰寓寄処	所管課	生涯学習課
建築年	江戸時代(後期)	延床面積	104.56 m ²
計画期間	短期(第Ⅰ期前期) ・ 中期(第Ⅰ期後期) ・ 長期(第Ⅱ期以降)		
現状と課題	静岡県指定文化財(史跡)であり、静岡県文化財保護条例により現状変更が制限されている。 敷地内の一部私有地について対応する。 建物は耐震性がないが、貴重な有形文化財を保存管理していかなければならない。		
今後の方針	存続(建替え含む) ・ 売却／譲与 ・ 転用 ・ 集約 ・ 複合化 ・ 廃止		
方針概要	静岡県指定文化財(史跡)のため、除去・廃止はできない。必要な修繕、改修等を実施しながら維持管理していく。		
関連他施設等 (関係課)			

【施設情報】

施設名	下田市民スポーツセンター	所管課	生涯学習課
建築年	1994 年(平成6年)	延床面積	1,221.42 m ²
計画期間	短期(第Ⅰ期前期) ・ 中期(第Ⅰ期後期) ・ 長期(第Ⅱ期以降)		
現状と課題	市民の健康施設として、文化施設として多機能に利用されている。 施設及び設備の老朽化により、修繕を必要とする箇所を多く抱えている。		
今後の方針	存続(建替え含む) ・ 売却／譲与 ・ 転用 ・ 集約 ・ 複合化 ・ 廃止		
方針概要	施設の円滑な運用、利用者の安全と利便性の向上のため、修繕計画に沿って計画的に改修を行い長寿命化を図る。		
関連他施設等 (関係課)			

下田市個別施設計画(第Ⅰ期後期)R7

【施設情報】

施設名	下田市立吉佐美運動公園 (トイレ兼器具倉庫)	所管課	生涯学習課
建築年	2008 年(平成 20 年)	延床面積	43.50 m ²
計画期間	短期(第Ⅰ期前期) ・ 中期(第Ⅰ期後期) ・ 長期(第Ⅱ期以降)		
現状と課題	吉佐美運動公園は市民の健康施設、リクリエーション施設として利用されている。トイレ兼器具庫は利用者には必要不可欠となっている。 大雨により冠水することがあり、災害復旧に大規模修繕費が発生する場合がある。 定期利用団体の使用が中心であり、さらなる活用が求められている。		
今後の方針	存続(建替え含む) ・ 売却／譲与 ・ 転用 ・ 集約 ・ 複合化 ・ 廃止		
方針概要	平成 17 年度から3ヶ年で公園整備事業を進めてきた経過があり、今後も体育施設と公園施設の性質を併せ持つ社会教育施設として、維持管理していく。 スポーツ合宿・大会誘致推進協議会において活用、再整備など検討していく。		
関連他施設等 (関係課)			

【施設情報】

施設名	外ヶ岡交流拠点施設	所管課	観光交流課
建築年	交流館 2000 年(平成 12 年) 便所 2004 年(平成 16 年)	延床面積	交流館 5,649.33 m ² 便所 50 m ²
計画期間	短期(第Ⅰ期前期) ・ 中期(第Ⅰ期後期) ・ 長期(第Ⅱ期以降)		
現状と課題	道の駅としてまた南伊豆地域の歴史、文化及び地場産品等の紹介、来遊客への各種情報提供、各種イベント会場として年間 40 万人を超える利用者がある。 建設から 19 年が経過しており、適切な施設維持のため、定期的な機械設備の更新や建物の補修が必要となっている。		
今後の方針	存続(建替え含む) ・ 売却／譲与 ・ 転用 ・ 集約 ・ 複合化 ・ 廃止		
方針概要	定期的に点検を実施し、不具合の早期発見、予防保全に努めるとともに、計画的に更新や改修を行い施設の長寿命化を図る。		
関連他施設等 (関係課)			

下田市個別施設計画(第Ⅰ期後期)R7

【施設情報】

施設名	尾ヶ崎展望台案内所	所管課	観光交流課
建築年	1997 年(平成 9 年)	延床面積	62.26 m ²
計画期間	短期(第Ⅰ期前期) ・ 中期(第Ⅰ期後期) ・ 長期(第Ⅱ期以降)		
現状と課題	観光案内機能は、平成 25 年 7 月から休止としており、トイレ・駐車場等の管理清掃業務のみ伊豆白浜観光協会に委託(同協会への委託はR3から)。経年劣化が若干見られるものの、大規模な修繕、改修工事は必要なし。今後も観光施設として使用していくために、安全性、利便性を確保し、長寿命化を図る維持修繕を実施していく。		
今後の方針	存続(建替え含む) ・ 売却／譲与 ・ 転用 ・ 集約 ・ 複合化 ・ 廃止		
方針概要	施設の長寿命化を図るため、定期的に点検を行い、不良個所が確認された時点で必要な修繕を実施する。また、一部未利用施設(展望デッキ)については撤去(当面は修景を害しないため立入禁止として対応)を検討する。		
関連他施設等(関係課)			

【施設情報】

施設名	旧あずさ山の家	所管課	産業振興課
建築年	1992 年(平成4年)	延床面積	1,387.60 m ²
計画期間	短期(第Ⅰ期前期) ・ 中期(第Ⅰ期後期) ・ 長期(第Ⅱ期以降)		
現状と課題	・2025(R7)年 5 月サウンディング型市場調査を実施。 ・2025(R7)年9月議会において農村体験宿泊施設条例を廃止。用途廃止し、普通財産とする。 ・2026(R8)年1月、市に新たな財政負担を生じさせない条件による「あずさ山の家利活用事業に係るプロポーザル」を実施。民間事業者と令和 8 年4月1日から令和 17 年3月 31 日までの 10 年間の普通財産賃貸借契約を締結。		
今後の方針	存続(建替え含む) ・ 売却／譲与 ・ 転用 ・ 集約 ・ 複合化 ・ 廃止		
方針概要	・普通財産貸付による民間運用。施設の運用、修繕などは借主が実施し、民営施設として運営していく。 ・当面の間は産業振興課の普通財産として管理し、後に財務課へ移管。		
関連他施設等(関係課)	なし		

下田市個別施設計画(第Ⅰ期後期)R7

【施設情報】

施設名	下田市立稲梓小学校	所管課	学校教育課
建築年	1974年(昭和49年)	延床面積	2938.0㎡
計画期間	短期(第Ⅰ期前期) ・ 中期(第Ⅰ期後期) ・ 長期(第Ⅱ期以降)		
現状と課題	地域の中学校が集約される中で、小学校は地域の主要な施設として重要な役割を持っている。また施設の規模や安全面から、防災機能として、地域の避難所としての役割を有している。建設から30年以上経過する施設であり、その間の維持補修はほとんど行われていないため、施設の耐力度を図るとともに長寿命化に取り組んでいく。		
今後の方針	存続(建替え含む) ・ 売却／譲与 ・ 転用 ・ 集約 ・ 複合化 ・ 廃止		
方針概要	下田市立学校長寿命化計画(小学校編)策定(計画期間2021(R3)～2031(R12))		
関連他施設等 (関係課)			

【施設情報】

施設名	下田市立稲生沢小学校	所管課	学校教育課
建築年	1973年(昭和48年)	延床面積	5,294.0㎡
計画期間	短期(第Ⅰ期前期) ・ 中期(第Ⅰ期後期) ・ 長期(第Ⅱ期以降)		
現状と課題	地域の中学校が集約される中で、小学校は地域の主要な施設として重要な役割を持っている。また施設の規模や安全面から、防災機能として、地域の避難所としての役割を有している。建設から30年以上経過する施設であり、その間の維持補修はほとんど行われていないため、施設の耐力度を図るとともに長寿命化に取り組んでいく。		
今後の方針	存続(建替え含む) ・ 売却／譲与 ・ 転用 ・ 集約 ・ 複合化 ・ 廃止		
方針概要	稲生沢小学校屋外運動場改修工事 下田市立学校長寿命化計画(小学校編)策定(計画期間2020～2030予定)		
関連他施設等 (関係課)	目的外利用により、放課後児童クラブ保育室(2室)あり		

下田市個別施設計画(第Ⅰ期後期)R7

【施設情報】

施設名	下田市立白浜小学校	所管課	学校教育課
建築年	1980年(昭和55年)	延床面積	2,343.0㎡
計画期間	短期(第Ⅰ期前期) ・ 中期(第Ⅰ期後期) ・ 長期(第Ⅱ期以降)		
現状と課題	地域の中学校が集約される中で、小学校は地域の主要な施設として重要な役割を持っている。また施設の規模や安全面から、防災機能として、地域の避難所としての役割を有している。建設から30年以上経過する施設であり、その間の維持補修はほとんど行われていないため、施設の耐力度を図るとともに長寿命化に取り組んでいく。		
今後の方針	存続(建替え含む) ・ 売却／譲与 ・ 転用 ・ 集約 ・ 複合化 ・ 廃止		
方針概要	下田市立学校長寿命化計画(小学校編)策定(計画期間2020～2030予定)		
関連他施設等 (関係課)			

【施設情報】

施設名	下田市立浜崎小学校	所管課	学校教育課
建築年	1967年(昭和42年)	延床面積	3,259.0㎡
計画期間	短期(第Ⅰ期前期) ・ 中期(第Ⅰ期後期) ・ 長期(第Ⅱ期以降)		
現状と課題	地域の中学校が集約される中で、小学校は地域の主要な施設として重要な役割を持っている。また施設の規模や安全面から、防災機能として、地域の避難所としての役割を有している。建設から30年以上経過する施設であり、その間の維持補修はほとんど行われていないため、施設の耐力度を図るとともに長寿命化に取り組んでいく。		
今後の方針	存続(建替え含む) ・ 売却／譲与 ・ 転用 ・ 集約 ・ 複合化 ・ 廃止		
方針概要	浜崎小学校東館改修工(RC2階建688㎡⇒木造平屋建約218㎡※学童1室含む) $3,259\text{㎡} - 470\text{㎡} = 2,789\text{㎡}$ 浜崎小学校屋外運動場改修工事 下田市立学校長寿命化計画(小学校編)策定(計画期間2020～2030予定)		
関連他施設等 (関係課)	目的外利用により、放課後児童クラブ保育室(1室)R2.4～		

下田市個別施設計画(第Ⅰ期後期)R7

【施設情報】

施設名	下田市立下田小学校	所管課	学校教育課
建築年	1981年(昭和56年)	延床面積	7,028.0㎡
計画期間	短期(第Ⅰ期前期) ・ 中期(第Ⅰ期後期) ・ <u>長期(第Ⅱ期以降)</u>		
現状と課題	地域の中学校が集約される中で、小学校は地域の主要な施設として重要な役割を持っている。また施設の規模や安全面から、防災機能として、地域の避難所としての役割を有している。建設から30年以上経過する施設であり、その間の維持補修はほとんど行われていないため、施設の耐力度を図るとともに長寿命化に取り組んでいく。		
今後の方針	<u>存続(建替え含む)</u> ・ 売却／譲与 ・ 転用 ・ 集約 ・ 複合化 ・ 廃止		
方針概要	下田市立学校長寿命化計画(小学校編)策定(計画期間2020～2030予定)		
関連他施設等(関係課)	目的外利用により、放課後児童クラブ保育室(2室)、東部特別支援学校下田分校(6室)あり		

【施設情報】

施設名	下田市立大賀茂小学校	所管課	学校教育課
建築年	1988年(昭和63年)	延床面積	1,720.0㎡
計画期間	短期(第Ⅰ期前期) ・ 中期(第Ⅰ期後期) ・ <u>長期(第Ⅱ期以降)</u>		
現状と課題	地域の中学校が集約される中で、小学校は地域の主要な施設として重要な役割を持っている。また施設の規模や安全面から、防災機能として、地域の避難所としての役割を有している。建設から30年以上経過する施設であり、その間の維持補修はほとんど行われていないため、施設の耐力度を図るとともに長寿命化に取り組んでいく。		
今後の方針	<u>存続(建替え含む)</u> ・ 売却／譲与 ・ 転用 ・ 集約 ・ 複合化 ・ 廃止		
方針概要	下田市立学校長寿命化計画(小学校編)策定		
関連他施設等(関係課)			

下田市個別施設計画(第Ⅰ期後期)R7

【施設情報】

施設名	下田市立朝日小学校	所管課	学校教育課
建築年	1977年(昭和52年)	延床面積	2,742.0㎡
計画期間	短期(第Ⅰ期前期) ・ 中期(第Ⅰ期後期) ・ 長期(第Ⅱ期以降)		
現状と課題	地域の中学校が集約される中で、小学校は地域の主要な施設として重要な役割を持っている。また施設の規模や安全面から、防災機能として、地域の避難所としての役割を有している。建設から30年以上経過する施設であり、その間の維持補修はほとんど行われていないため、施設の耐力度を図るとともに長寿命化に取り組んでいく。		
今後の方針	存続(建替え含む) ・ 売却／譲与 ・ 転用 ・ 集約 ・ 複合化 ・ 廃止		
方針概要	下田市立学校長寿命化計画(小学校編)策定		
関連他施設等(関係課)			

【施設情報】

施設名	下田市立稲梓中学校	所管課	学校教育課
建築年	1962年(昭和37年)	延床面積	2,927.0㎡
計画期間	短期(第Ⅰ期前期) ・ 中期(第Ⅰ期後期) ・ 長期(第Ⅱ期以降)		
現状と課題	2022(R4)年4月1日の新中学校への統合により、同日において学校施設としての用途を廃止した。土地及び建物の有効活用方法等については、公有財産検討委員会において検討する。体育館(935㎡)を残しそれ以外は解体。 $2,927\text{㎡} - 1,992\text{㎡} = 935\text{㎡}$		
今後の方針	存続(建替え含む) ・ 売却／譲与 ・ 転用 ・ 集約 ・ 複合化 ・ 廃止		
方針概要	すでに学校としての用途は廃止済。今後の活用については、企画課が稲梓地域活性化基本構想にて検討中		
関連他施設等(関係課)	企画課		

下田市個別施設計画(第Ⅰ期後期)R7

【施設情報】

施設名	下田市立稲生沢中学校	所管課	学校教育課
建築年	1982年(昭和57年)	延床面積	4,514.0㎡
計画期間	短期(第Ⅰ期前期) ・ 中期(第Ⅰ期後期) ・ 長期(第Ⅱ期以降)		
現状と課題	2022(R4)年4月1日の新中学校への統合により、同日において学校施設としての用途を廃止した。土地及び建物の有効活用方法等については、公有財産検討委員会において検討する。		
今後の方針	存続(建替え含む) ・ 売却／譲与 ・ 転用 ・ 集約 ・ 複合化 ・ 廃止		
方針概要	下田市役所の移転場所として活用する 所管課を総務課・企画課として、新規に「下田市役所新庁舎」を作成。		
関連他施設等 (関係課)			

【施設情報】

施設名	下田市立下田東中学校	所管課	学校教育課
建築年	1967年(昭和42年)	延床面積	3,854.0㎡
計画期間	短期(第Ⅰ期前期) ・ 中期(第Ⅰ期後期) ・ 長期(第Ⅱ期以降)		
現状と課題	2022(R4)年4月1日の新中学校への統合により、同日において学校施設としての用途を廃止した。土地及び建物の有効活用方法等については、公有財産検討委員会において検討する。		
今後の方針	存続(建替え含む) ・ 売却／譲与 ・ 転用 ・ 集約 ・ 複合化 ・ 廃止		
方針概要	令和6年3月から静岡県警に賃貸借を行う。 所管課を財務課として、新規に施設情報を作成。		
関連他施設等 (関係課)			

下田市個別施設計画(第Ⅰ期後期)R7

【施設情報】

施設名	下田市立下田中学校	所管課	学校教育課
建築年	1984年(昭和59年)	延床面積	6,262.0㎡
計画期間	短期(第Ⅰ期前期) ・ 中期(第Ⅰ期後期) ・ 長期(第Ⅱ期以降)		
現状と課題	2022(R4)年4月1日において市内中学校4校を統合した新中学校としての受け皿の役目を担う。 令和2年度328㎡、令和3年度2,078㎡増築。		
今後の方針	存続(建替え含む) ・ 売却／譲与 ・ 転用 ・ 集約 ・ 複合化 ・ 廃止		
方針概要	中学校再編計画による		
関連他施設等 (関係課)			

【施設情報】

施設名	下田市立学校給食センター	所管課	学校教育課
建築年	2016年(平成28年)	延床面積	1,103.0㎡
計画期間	短期(第Ⅰ期前期) ・ 中期(第Ⅰ期後期) ・ 長期(第Ⅱ期以降)		
現状と課題	2016年3月竣工の学校給食センターは、市内唯一の学校給食施設となるため学校給食が存在する限り施設は存続していく。定期的な点検を行い、施設の長寿命化及び設備の改修を行う。また圏域において主食の確保が難しい場合は、主食を提供するための施設を新たに整備する必要がある。		
今後の方針	存続(建替え含む) ・ 売却／譲与 ・ 転用 ・ 集約 ・ 複合化 ・ 廃止		
方針概要	定期的な点検、予防保全による適切な管理 炊飯設備増加に伴う炊飯室工事及び受水槽修繕予定		
関連他施設等 (関係課)			

下田市個別施設計画(第Ⅰ期後期)R7

【施設情報】

施設名	下田市立下田幼稚園	所管課	学校教育課所管
建築年	1993 年(平成5年)	延床面積	648.0 ㎡
計画期間	短期(第Ⅰ期前期) ・ 中期(第Ⅰ期後期) ・ 長期(第Ⅱ期以降)		
現状と課題	高台に有るため、被災時における下田保育所児童及び地域住民の避難地としての役割を有している。 園児数の減少に伴い、令和4年度をもって閉園。閉園後の園舎は、劣化が著しく使用にはかなりの修繕が必要である。		
今後の方針	存続(建替え含む) ・ 売却／譲与 ・ 転用 ・ 集約 ・ 複合化 ・ 廃止		
方針概要	令和4年度末に下田幼稚園が閉園となった後も、園舎は津波の指定避難所ともなっている。園舎の劣化が著しく、使用については整備検討が必要である。		
関連他施設等 (関係課)			

【施設情報】

施設名	下田市立下田保育所	所管課	こども家庭課 (R7 学校教育課所管)
建築年	1988 年(昭和 63 年)	延床面積	1,066.21 ㎡
計画期間	短期(第Ⅰ期前期) ・ 中期(第Ⅰ期後期) ・ 長期(第Ⅱ期以降)		
現状と課題	令和 7 年度末を持って閉園し下田認定こども園に集約した。建物は築 30 年以上経過し恒常的に一定の維持修繕が必要である。市街地の中心に位置しているが、津波浸水想定域に有ることから、通常の防災対策に加え津波対策も必要とされる。		
今後の方針	存続(建替え含む) ・ 売却／譲与 ・ 転用 ・ 集約 ・ 複合化 ・ 廃止		
方針概要	令和 7 年度を末に閉園となった。市街地の中心に位置しているが津波浸水想定域内に有り、他用途で活用するにも通常の防災対策に加え津波対策も必要とされることを踏まえて今後の利用方針を検討する。		
関連他施設等 (関係課)			

下田市個別施設計画(第Ⅰ期後期)R7

【施設情報】

施設名	下田市立下田認定こども園	所管課	こども家庭課 (R7 学校教育課所管)
建築年	2013 年(平成 25 年)	延床面積	1,703.0 m ²
計画期間	短期(第Ⅰ期前期) ・ 中期(第Ⅰ期後期) ・ 長期(第Ⅱ期以降)		
現状と課題	幼保再編の拠点施設として、児童福祉法による保育と学校教育法による教育を一体的に提供することができる市内唯一の幼保連携型認定こども園として整備された。市内各地からの受け皿として、通園バスによる送迎実施など、広域利用へも対応している。施設も新しく、高台であり防災上の安心感から利用者からの人気も高い。施設は築 10 年が経過し、施設及び機器の故障や修繕が発生している。		
今後の方針	存続(建替え含む) ・ 売却／譲与 ・ 転用 ・ 集約 ・ 複合化 ・ 廃止		
方針概要	令和7年度末に下田保育所を統合した。築 10 年以上経過しているため、少子化の進行、保育ニーズの変化等の状況を考慮しながら施設の維持管理の検討していく必要がある。		
関連他施設等 (関係課)	下田市地域子育て支援センター(学校教育課)		

【施設情報】

施設名	下田市地域子育て支援センター	所管課	こども家庭課 (R7 学校教育課所管)
建築年	2010 年(平成 22 年)	延床面積	114.27 m ²
計画期間	短期(第Ⅰ期前期) ・ 中期(第Ⅰ期後期) ・ 長期(第Ⅱ期以降)		
現状と課題	親子の交流の場の提供、各種講座の開催、子育て相談等を実施し、在宅で子育てする保護者の孤立化、育児不安の解消を図り、地域の子育て支援の核としての役割を果たしている。施設は築 10 年以上が経過し、利用者の増加に伴い、手狭なフロアと園庭の必要性が課題となっている。		
今後の方針	存続(建替え含む) ・ 売却／譲与 ・ 転用 ・ 集約 ・ 複合化 ・ 廃止		
方針概要	今後も未就園児における子育て支援の核としての役割を担うため、適切な維持管理を実施するとともに、必要な施設機能を検討する。		
関連他施設等 (関係課)	下田認定こども園(学校教育課)		

【施設情報】

施設名	下田市立老人憩の家	所管課	地域福祉課 (R7 福祉事務所所管)
建築年	1974 年(昭和 49 年)	延床面積	202.38 m ²
計画期間	短期(第Ⅰ期前期) ・ 中期(第Ⅰ期後期) ・ 長期(第Ⅱ期以降)		
現状と課題	令和4年 12 月 7 日 解体工事完了		
今後の方針	存続(建替え含む) ・ 売却／譲与 ・ 転用 ・ 集約 ・ 複合化 ・ 廃止		
方針概要			
関連他施設等 (関係課)	総合福祉会館(福祉事務所)		

【施設情報】

施設名	下田市総合福祉会館	所管課	地域福祉課 (R7 福祉事務所所管)
建築年	1988 年(昭和 63 年)	延床面積	896.0 m ²
計画期間	短期(第Ⅰ期前期) ・ 中期(第Ⅰ期後期) ・ 長期(第Ⅱ期以降)		
現状と課題	老人福祉法に基づく「老人福祉施設」であり、設置目的に沿って在宅高齢者等の健康増進や介護予防に寄与している。 近年は、エアコン改修工事、換気設備改修工事、高圧受変電設備修繕、消防用設備修繕、給水加圧ポンプ修繕、屋外温泉タンク交換工事を実施した。 以後、LED化改修工事を予定している他、内装工事などの課題がある。		
今後の方針	存続(建替え含む) ・ 売却／譲与 ・ 転用 ・ 集約 ・ 複合化 ・ 廃止		
方針概要	老人福祉法に基づく施設であり、老人福祉施設としては高齢者生きがいプラザと老人憩の家が 2022 年(令和4年度)までに廃止したことから、実質的に本施設のみとなる。 築後 37 年を経過するため、必要な修繕、改修等を実施しながら長寿命化を図るとともに、津波浸水域にあることも念頭に置いた長期的な建替計画の検討が必要となる。		
関連他施設等 (関係課)			

下田市個別施設計画(第Ⅰ期後期)R7

【施設情報】

施設名	下田市役所	所管課	総務課
建築年	本館 1956 年(昭和 31 年) 西館 1978 年(昭和 53 年) 別館 1967 年(昭和 42 年)	延床面積	本館 925.00 m ² 西館 1698.18 m ² 別館 494.12 m ² 合計 3,117.30 m ²
計画期間	短期(第Ⅰ期前期) ・ 中期(第Ⅰ期後期) ・ 長期(第Ⅱ期以降)		
現状と課題	新庁舎を河内地区に整備することが決定している状況であり、移転後の跡地活用が課題となっている。伊豆急下田駅周辺整備計画などの関連既存計画との調整も必要だが、新庁舎への移転時期が迫っている中で、早期に方向性を検討していく必要がある。		
今後の方針	存続(建替え含む) ・ 売却／譲与 ・ 転用 ・ 集約 ・ 複合化 ・ 廃止		
方針概要	伊豆急下田駅に近接しており、まちの中心に位置することから、市民及び観光客の利用が想定される機能を配置し、まちづくりに寄与するような活用を図る。		
関連他施設等 (関係課)	なし		

【施設情報】

施設名	下田市役所新庁舎	所管課	総務課・企画課
建築年	活用棟 1982 年(昭和 57 年) 体育館棟 1986 年(昭和 61 年) 新築棟 2026 年度完成	延床面積	活用棟 3,086.80 m ² 体育館棟 1,610.80 m ² 新築棟 2,702.60 m ² 合計 7,400.20 m ²
計画期間	短期(第Ⅰ期前期) ・ 中期(第Ⅰ期後期) ・ 長期(第Ⅱ期以降)		
現状と課題	現庁舎は、行政サービスの拠点として多くの市民に利用されているが、いずれの建物も建築後 40 年以上が経過し、老朽化が進んでいること、津波浸水想定区域内にあることなど、安全性、利便性等について早急な対応が必要となっている。		
今後の方針	存続(建替え含む) ・ 売却／譲与 ・ 転用 ・ 集約 ・ 複合化 ・ 廃止		
方針概要	令和4年6月に従来の新庁舎基本計画を改訂し、令和元年度購入用地と旧稻生沢中学校用地を一体で敷地と設定。耐震性のある既存学校施設を活用し、令和7年度に新築棟が完成した。令和 8 年 5 月から全棟について供用を開始する		
関連他施設等 (関係課)	なし		

下田市個別施設計画(第Ⅰ期後期)R7

【施設情報】

施設名	旧第1分団第1部消防団詰所	所管課	防災安全課
建築年	1980年(昭和55年)	延床面積	55.40 m ²
計画期間	短期(第Ⅰ期前期) ・ 中期(第Ⅰ期後期) ・ 長期(第Ⅱ期以降)		
現状と課題	第1分団第1部の消防団員の活動拠点となる施設(大川端)。耐震性なし。 また、津波浸水想定区域に位置し、大規模地震発生時の津波により、消防車両の出動や現地までの走行が困難となることが予測されている。		
今後の方針	存続(建替え含む) ・ 売却／譲与 ・ 転用 ・ 集約 ・ 複合化 ・ 廃止		
方針概要	令和4年度中に解体。		
関連他施設等 (関係課)			

【施設情報】

施設名	第1分団第2部消防団詰所	所管課	防災安全課
建築年	1978年(昭和53年)	延床面積	66.23 m ²
計画期間	短期(第Ⅰ期前期) ・ 中期(第Ⅰ期後期) ・ 長期(第Ⅱ期以降)		
現状と課題	第1分団第2部の消防団員の活動拠点となる施設(二丁目)。耐震性なし。 また、津波浸水想定区域に位置し、大規模地震発生時の津波により、消防車両の出動や現地までの走行が困難となることが予測されている。		
今後の方針	存続(建替え含む) ・ 売却／譲与 ・ 転用 ・ 集約 ・ 複合化 ・ 廃止		
方針概要	施設の老朽化や団員数の減少により、部の統合は必要である。 詰所の移転先は津波浸水域にかかわらず検討し、統合の内容についても分団・地元区と再検討していく。		
関連他施設等 (関係課)			

下田市個別施設計画(第Ⅰ期後期)R7

【施設情報】

施設名	新第1分団第1部消防団詰所	所管課	防災安全課
建築年	1993 年(平成 5 年)	延床面積	89.70 m ²
計画期間	短期(第Ⅰ期前期) ・ 中期(第Ⅰ期後期) ・ 長期(第Ⅱ期以降)		
現状と課題	第1分団第1部の消防団員の活動拠点となる施設(下田公園下)で耐震性あり。 また、津波浸水想定区域に位置し、大規模地震発生時の津波により、消防車両の出動や現地までの走行が困難となることが予測されている。		
今後の方針	存続(建替え含む) ・ 売却／譲与 ・ 転用 ・ 集約 ・ 複合化 ・ 廃止		
方針概要	令和4年度に、第1分団第1部と第3部が統合し、新第1分団第1部として使用を開始した。		
関連他施設等 (関係課)			

【施設情報】

施設名	新第1分団第3部消防団詰所	所管課	防災安全課
建築年	1993 年(平成 5 年)	延床面積	68.00 m ²
計画期間	短期(第Ⅰ期前期) ・ 中期(第Ⅰ期後期) ・ 長期(第Ⅱ期以降)		
現状と課題	令和4年度から、第1分団第3部が使用する、消防団員の活動拠点となる施設(消防署隣接)。耐震性なし。 また、津波浸水想定区域に位置し、大規模地震発生時の津波により、消防車両の出動や現地までの走行が困難となることが予測されている。		
今後の方針	存続(建替え含む) ・ 売却／譲与 ・ 転用 ・ 集約 ・ 複合化 ・ 廃止		
方針概要	令和4年度の組織編成から、施設名称を第1分団第4部消防団詰所から第1分団第3部消防団詰所に変更した。 今後も、第1分団の詰所の移転について地元分団・地元区と再検討していく。		
関連他施設等 (関係課)			

下田市個別施設計画(第Ⅰ期後期)R7

【施設情報】

施設名	第2分団第1部消防団詰所	所管課	防災安全課
建築年	1964年(昭和39年)	延床面積	54.40 m ²
計画期間	短期(第Ⅰ期前期) ・ 中期(第Ⅰ期後期) ・ 長期(第Ⅱ期以降)		
現状と課題	第2分団第1部の消防団員(本郷)の活動拠点となる施設。耐震性なし。 また、津波浸水想定区域に位置し、大規模地震発生時の津波により、消防車両の出動や現地までの走行が困難となることが予測されている。		
今後の方針	存続(建替え含む) ・ 売却／譲与 ・ 転用 ・ 集約 ・ 複合化 ・ 廃止		
方針概要	施設の老朽化により、集約を検討していく。立地的に他の部との統合は困難であるため当面は、定期的な点検を行いつつ、予防保全による適切な管理を行う。		
関連他施設等 (関係課)			

【施設情報】

施設名	旧第2分団第2部消防団詰所	所管課	防災安全課
建築年	1976年(昭和51年)	延床面積	61.10 m ²
計画期間	短期(第Ⅰ期前期) ・ 中期(第Ⅰ期後期) ・ 長期(第Ⅱ期以降)		
現状と課題	第2分団第2部の消防団員の活動拠点となる施設(河内)。耐震性なし。		
今後の方針	存続(建替え含む) ・ 売却／譲与 ・ 転用 ・ 集約 ・ 複合化 ・ 廃止		
方針概要	施設の老朽化や団員数の減少により、第2分団第4部との統合となった。 令和4年度に建物解体。		
関連他施設等 (関係課)			

下田市個別施設計画(第Ⅰ期後期)R7

【施設情報】

施設名	第2分団第3部消防団詰所	所管課	防災安全課
建築年	2015年(平成27年)	延床面積	112.00 m ²
計画期間	短期(第Ⅰ期前期) ・ 中期(第Ⅰ期後期) ・ 長期(第Ⅱ期以降)		
現状と課題	第2分団第3部の消防団員の活動拠点となる施設(大沢)。耐震性あり。		
今後の方針	存続(建替え含む) ・ 売却／譲与 ・ 転用 ・ 集約 ・ 複合化 ・ 廃止		
方針概要	本施設は、市民生活の安全・安心を確保する施設として、継続利用する。		
関連他施設等 (関係課)			

【施設情報】

施設名	新第2分団第2部消防団詰所	所管課	防災安全課
建築年	2021年12月	延床面積	120.00 m ²
計画期間	短期(第Ⅰ期前期) ・ 中期(第Ⅰ期後期) ・ 長期(第Ⅱ期以降)		
現状と課題	令和4年度に旧中公民館跡地に統合詰所を建設し、名称を第2分団第4部から「第2分団第2部」に名称変更した。 消防団員の活動拠点となる施設(活動範囲:河内、立野、中地区)、耐震性あり。		
今後の方針	存続(建替え含む) ・ 売却／譲与 ・ 転用 ・ 集約 ・ 複合化 ・ 廃止		
方針概要	本施設は、市民生活の安全・安心を確保する施設として、継続利用する。		
関連他施設等 (関係課)			

下田市個別施設計画(第Ⅰ期後期)R7

【施設情報】

施設名	箕作地区コミュニティ消防センター	所管課	防災安全課
建築年	2005 年(平成 17 年)	延床面積	114.13 m ²
計画期間	短期(第Ⅰ期前期) ・ 中期(第Ⅰ期後期) ・ 長期(第Ⅱ期以降)		
現状と課題	第3分団の消防団員の活動拠点となる施設。耐震性あり。		
今後の方針	存続(建替え含む) ・ 売却／譲与 ・ 転用 ・ 集約 ・ 複合化 ・ 廃止		
方針概要	令和4年度に第3分団は1から3部を統廃合し、当該詰所1か所に統合となった。 本施設は、市民生活の安全・安心を確保する施設として、適切な維持管理をおこないつつ、継続利用する。		
関連他施設等 (関係課)			

【施設情報】

施設名	旧第3分団第2部消防団詰所	所管課	防災安全課
建築年	1980 年(昭和 55 年)	延床面積	46.30 m ²
計画期間	短期(第Ⅰ期前期) ・ 中期(第Ⅰ期後期) ・ 長期(第Ⅱ期以降)		
現状と課題	第3分団第2部の消防団員の活動拠点となる施設(須原)。耐震性なし。		
今後の方針	存続(建替え含む) ・ 売却／譲与 ・ 転用 ・ 集約 ・ 複合化 ・ 廃止		
方針概要	令和4年度から部の統合により廃止が決定。令和4年度中に解体。		
関連他施設等 (関係課)			

下田市個別施設計画(第Ⅰ期後期)R7

【施設情報】

施設名	旧第 3 分団第 3 部消防団詰所	所管課	防災安全課
建築年	1975 年(昭和 50 年)	延床面積	54.18 m ²
計画期間	短期(第Ⅰ期前期) ・ 中期(第Ⅰ期後期) ・ 長期(第Ⅱ期以降)		
現状と課題	第3分団第3部の消防団員の活動拠点となる施設(椎原)。耐震性なし。		
今後の方針	存続(建替え含む) ・ 売却／譲与 ・ 転用 ・ 集約 ・ 複合化 ・ 廃止		
方針概要	令和5年度中に建物解体。 底地は市有地であり、利活用方法として、売却を検討中。		
関連他施設等 (関係課)			

【施設情報】

施設名	第 4 分団第 1 部消防団詰所	所管課	防災安全課
建築年	2011 年(平成 23 年)	延床面積	111.10 m ²
計画期間	短期(第Ⅰ期前期) ・ 中期(第Ⅰ期後期) ・ 長期(第Ⅱ期以降)		
現状と課題	第4分団第1部の消防団員の活動拠点となる施設(横川)。耐震性あり。		
今後の方針	存続(建替え含む) ・ 売却／譲与 ・ 転用 ・ 集約 ・ 複合化 ・ 廃止		
方針概要	本施設は、市民生活の安全・安心を確保する施設として、継続利用する。		
関連他施設等 (関係課)			

下田市個別施設計画(第Ⅰ期後期)R7

【施設情報】

施設名	第5分団第1部消防団詰所	所管課	防災安全課
建築年	2016年(平成28年)	延床面積	120.00 m ²
計画期間	短期(第Ⅰ期前期) ・ 中期(第Ⅰ期後期) ・ 長期(第Ⅱ期以降)		
現状と課題	第5分団第1部の消防団員の活動拠点となる施設(柿崎)。耐震性あり。		
今後の方針	存続(建替え含む) ・ 売却／譲与 ・ 転用 ・ 集約 ・ 複合化 ・ 廃止		
方針概要	本施設は、市民生活の安全・安心を確保する施設として、継続利用する。		
関連他施設等 (関係課)			

【施設情報】

施設名	第5分団第2部消防団詰所	所管課	防災安全課
建築年	1988年(昭和63年)	延床面積	70.84 m ²
計画期間	短期(第Ⅰ期前期) ・ 中期(第Ⅰ期後期) ・ 長期(第Ⅱ期以降)		
現状と課題	第5分団第2部の消防団員の活動拠点となる施設(須崎)。耐震性あり。 また、津波浸水想定区域に位置し、大規模地震発生時の津波により、消防車両の出動や現地までの走行が困難となることが予測されている。 第5分団第3部から第5分団第2部に名称変更となった。		
今後の方針	存続(建替え含む) ・ 売却／譲与 ・ 転用 ・ 集約 ・ 複合化 ・ 廃止		
方針概要	本施設は、市民生活の安全・安心を確保する施設として、継続利用する。		
関連他施設等 (関係課)			

下田市個別施設計画(第Ⅰ期後期)R7

【施設情報】

施設名	第 6 分団第 1 部消防団詰所	所管課	防災安全課
建築年	1988 年(昭和 63 年)	延床面積	69.56 m ²
計画期間	短期(第Ⅰ期前期) ・ 中期(第Ⅰ期後期) ・ 長期(第Ⅱ期以降)		
現状と課題	第 6 分団第 1 部の消防団員の活動拠点となる施設(吉佐美)。耐震性あり。 また、津波浸水想定区域に位置し、大規模地震発生時の津波により、消防車両の出動や現地までの走行が困難となることが予測されている。		
今後の方針	存続(建替え含む) ・ 売却／譲与 ・ 転用 ・ 集約 ・ 複合化 ・ 廃止		
方針概要	令和9年度に第6分団を統合し、津波浸水区域外に統合詰所を建設予定。 統合後は令和 10 年度に地元区へと建物を譲渡することを検討中。		
関連他施設等 (関係課)			

【施設情報】

施設名	第 6 分団第 2 部消防団詰所	所管課	防災安全課
建築年	1979 年(昭和 54 年)	延床面積	57.82 m ²
計画期間	短期(第Ⅰ期前期) ・ 中期(第Ⅰ期後期) ・ 長期(第Ⅱ期以降)		
現状と課題	第 6 分団第 2 部の消防団員の活動拠点となる施設(大賀茂)。耐震性なし。		
今後の方針	存続(建替え含む) ・ 売却／譲与 ・ 転用 ・ 集約 ・ 複合化 ・ 廃止		
方針概要	令和9年度に第6分団を統合し、津波浸水区域外に統合詰所を建設予定。 統合後は、建物を防災備蓄倉庫として利活用することを検討中。		
関連他施設等 (関係課)			

下田市個別施設計画(第Ⅰ期後期)R7

【施設情報】

施設名	旧第 6 分団第 3 部消防団詰所	所管課	防災安全課
建築年	1973 年(昭和 48 年)	延床面積	42.20 m ²
計画期間	短期(第Ⅰ期前期) ・ 中期(第Ⅰ期後期) ・ 長期(第Ⅱ期以降)		
現状と課題	第 6 分団第 3 部の消防団員の活動拠点となる施設(田牛)。耐震性なし。 また、津波浸水想定区域に位置し、大規模地震発生時の津波により、消防車両の出動や現地までの走行が困難となることが予測されている。		
今後の方針	存続(建替え含む) ・ 売却／譲与 ・ 転用 ・ 集約 ・ 複合化 ・ 廃止		
方針概要	令和5年度に第6分団第1部に吸収合併、詰所は廃止とし解体した。 底地は私有地であるため返却した。		
関連他施設等 (関係課)			

【施設情報】

施設名	白浜地区防災センター	所管課	防災安全課
建築年	2016 年(平成 28 年)	延床面積	210.00 m ²
計画期間	短期(第Ⅰ期前期) ・ 中期(第Ⅰ期後期) ・ 長期(第Ⅱ期以降)		
現状と課題	第 7 分団第 1 部の消防団員及び、地域の防災組織の活動拠点となる施設。 耐震性あり。		
今後の方針	存続(建替え含む) ・ 売却／譲与 ・ 転用 ・ 集約 ・ 複合化 ・ 廃止		
方針概要	本施設は、市民生活の安全・安心を確保する施設として、継続利用する。		
関連他施設等 (関係課)			

下田市個別施設計画(第Ⅰ期後期)R7

【施設情報】

施設名	うつぎ原市営住宅	所管課	建設課
建築年	1962 年(昭和 37 年)	延床面積	146.00 m ²
計画期間	短期(第Ⅰ期前期) ・ 中期(第Ⅰ期後期) ・ 長期(第Ⅱ期以降)		
現状と課題	老朽化の進行が著しいため、早期に除却し安全性を確保する。敷地が狭く高低差があり建替に適していないことから用途廃止とする。 H30 に 3 棟 5 戸を解体済。H31 に残りを全て解体。		
今後の方針	存続(建替え含む) ・ 売却／譲与 ・ 転用 ・ 集約 ・ 複合化 ・ 廃止		
方針概要			
関連他施設等 (関係課)			

【施設情報】

施設名	丸山市営住宅	所管課	建設課
建築年	1955 年～1959 年 (昭和 30～34 年)	延床面積	1497.80 m ²
計画期間	短期(第Ⅰ期前期) ・ 中期(第Ⅰ期後期) ・ 長期(第Ⅱ期以降)		
現状と課題	耐用年数を超過し、耐震性もない。 令和8年4月1日現在、全 31 戸のうち、12 戸入居者がいる。平成 30 年度、令和元年度に 17 戸ずつ、令和7年度に3戸の計 37 戸を解体済。また、令和 13 年度までに丸山市営住宅敷地内全ての住宅を用途廃止する方針となっている。 できる限り速やかに入居者を移転させ、用途廃止としたいが、家賃が安価であり引っ越し費用も掛かるため、入居者が転居に応じないことが課題となっている。 1497.80 m²－608.00 m²＝889.80 m²		
今後の方針	存続(建替え含む) ・ 売却／譲与 ・ 転用 ・ 集約 ・ 複合化 ・ 廃止		
方針概要	耐震性が欠如し、耐用年数を超過しているため、入居者に移転を促し、退去完了後に廃止・解体する。 平成 30 年度に空家 35 戸のうち、17 戸を解体、令和元年度に 17 戸解体を実施した。令和2年度に1戸の用途廃止を行った。また、令和7年度に3戸解体を実施した。現在は、丸山市営住宅は 31 戸管理されており、そのうち、12 戸が入居中である。 今後は、下田市営住宅長寿命化計画に沿って、随時用途廃止を行っていく。		
関連他施設等 (関係課)			

下田市個別施設計画(第Ⅰ期後期)R7

【施設情報】

施設名	大沢市営住宅(旧)	所管課	建設課
建築年	1972 年(昭和 47 年)	延床面積	256.20 m ²
計画期間	短期(第Ⅰ期前期) ・ 中期(第Ⅰ期後期) ・ 長期(第Ⅱ期以降)		
現状と課題	PC造 簡易耐火構造2階建てで、一定の安全性は確保されている。 H30 で耐用年数を超過しており、できる限り速やかに入居者を移転させ、用途廃止を行なう。 6戸中2戸が入居中。		
今後の方針	存続(建替え含む) ・ 売却／譲与 ・ 転用 ・ 集約 ・ 複合化 ・ 廃止		
方針概要	『下田市営住宅長寿命化計画』(策定年度:2020 年度) 計画期間:令和3年度～令和 12 年度までの 10 年間(適宜計画を見直し) 方針は維持管理とし、必要な修繕のみを実施。また、令和 13 年度に用途廃止を行うこととしている。(新たな入居募集は行わない)		
関連他施設等 (関係課)			

【施設情報】

施設名	大沢市営住宅	所管課	建設課
建築年	1994 年(平成 6 年) 1996 年(平成 8 年)	延床面積	2,632.47 m ²
計画期間	短期(第Ⅰ期前期) ・ 中期(第Ⅰ期後期) ・ 長期(第Ⅱ期以降)		
現状と課題	RC造 耐火構造で、70 年の耐用年数がある。 30 戸中 25 戸が入居中。 概ね良好だが、湿気が強く、使用に耐えられない状態の部屋が2つある。 外壁にカビや錆水が見られ、今後改修を行う必要性があると指摘されている。 集会場の室内も湿気が多く、壁紙が剥がれ、修繕が必要。		
今後の方針	存続(建替え含む) ・ 売却／譲与 ・ 転用 ・ 集約 ・ 複合化 ・ 廃止		
方針概要	長期的に良好な住宅ストックとして使用していくため、改善を加え、長寿命化を図る。 R4に社会資本整備総合交付金を当て外壁修繕を実施することで長寿命化を図る。		
関連他施設等 (関係課)			

下田市個別施設計画(第Ⅰ期後期)R7

【施設情報】

施設名	上河内市営住宅	所管課	建設課
建築年	1972 年(昭和 47 年)	延床面積	1,536.20 m ²
計画期間	短期(第Ⅰ期前期) ・ 中期(第Ⅰ期後期) ・ 長期(第Ⅱ期以降)		
現状と課題	築 49 年であるものの、耐用年数が 70 年と使用が可能であることから、今後も良好な住宅ストックとして使用していくために、安全性を確保し、長寿命化を図る改善を実施する。 2043 年度に用途廃止を行うこととしている。 現在は、4 部屋の空室があるが、公募を行わない方針としている。		
今後の方針	存続(建替え含む) ・ 売却／譲与 ・ 転用 ・ 集約 ・ 複合化 ・ 廃止		
方針概要	下田市営住宅の適切な維持管理のため「下田市営住宅長寿命化計画」を策定しており、これを踏まえた施設の改修工事を実施することで長寿命化を図る。		
関連他施設等 (関係課)			

【施設情報】

施設名	敷根公園(プール棟等)	所管課	建設課
建築年	プール棟 1991 年(平成 3 年) 弓道場 1992 年(平成 4 年)	延床面積	4,041.25 m ²
計画期間	短期(第Ⅰ期前期) ・ 中期(第Ⅰ期後期) ・ 長期(第Ⅱ期以降)		
現状と課題	市民の憩いの場、レクリエーション活動や健康増進の拠点であって、大規模災害時の広域避難地を兼ねた都市公園として整備され、市民に日常的に利用されているだけでなく、スポーツ大会の開催や県外からの合宿などでも利用されている。 プール棟の天井の耐震化、屋根や外壁の防水工事、濾過機の更新、トイレの洋式化など行っているが、適切な施設維持のため、定期的な機械の更新や爆裂が見られる建物の補修等が必要となっている。		
今後の方針	存続(建替え含む) ・ 売却／譲与 ・ 転用 ・ 集約 ・ 複合化 ・ 廃止		
方針概要	50m プールは本施設が伊豆半島唯一ここだけであり、代替施設はない。 市民の健康増進や、スポーツ振興などに寄与していることから、継続的に更新や改修を行い、施設維持及び施設を活用した、市の活性化を図る。 R8 年度末までの指定管理期間後、生涯学習課へ移管予定。		
関連他施設等 (関係課)			

下田市個別施設計画(第Ⅰ期後期)R7

【施設情報】

施設名	建設課所管トイレ	所管課	建設課
建築年	下記()のとおりに	延床面積	下記()のとおりに
計画期間	短期(第Ⅰ期前期) ・ 中期(第Ⅰ期後期) ・ 長期(第Ⅱ期以降)		
現状と課題	①下田公園【犬走島(1980年(S55)築、5㎡)／和歌の浦入口(1991年(H3)築、27㎡)／開国広場(2002年(H14)築、51㎡)】 ②本郷公園(1969年(S44)築、5㎡)(1977年(S52)築、5㎡) ③小山田公園(1969年(S44)築、5㎡) ④中村中央公園(1974年(S49)築、5㎡) ⑤中村東公園(1974年(S49)築、5㎡) ⑥立野公園(1980年(S55)築、5㎡) ⑦下田公園下駐車場(1985年(S60)築、23㎡) 【課題】和式であり、旧態依然のトイレである(①和歌の浦・開国広場、⑦を除く)。		
今後の方針	存続(建替え含む) ・ 売却／譲与 ・ 転用 ・ 集約 ・ 複合化 ・ 廃止		
方針概要	都市公園の適切な維持管理のため、これらについては、損傷等が確認された時点で補修することとしている。 旧態依然のトイレについては、令和8年度以降より順次実施計画、改修を行っていく予定。		
関連他施設等(関係課)			

【施設情報】

施設名	爪木崎自然公園	所管課	産業振興課
建築年	①グリーンエリア管理棟(2階建) 1975年(昭和51年) ②花園温室 1979年(昭和54年) ③便所(グリーンエリア駐車場) 1994年(平成6年) ④便所(花園) 〃 ⑤便所(自生植物園) 〃 ⑥花園事務所 〃 ⑦資材倉庫	延床面積	① 162.00㎡ ② 320.00㎡ ③ 15.54㎡ ④ 4.25㎡ ⑤ 12.00㎡(令和2年度解体) ⑥ 21.53㎡ ⑦ 50.00㎡ 585.32㎡-12.00㎡=573.32㎡
計画期間	短期(第Ⅰ期前期) ・ 中期(第Ⅰ期後期) ・ 長期(第Ⅱ期以降)		
現状と課題	須崎半島における本地は、県内有数の景勝地として知られおり、冬期には日本水仙が群生し、約20万人を超える観光客が訪れる「水仙まつり」が開催される。 他にも、柱状節理(倭磯)、爪木崎灯台等の数多くの観光資源が存在することから、年間を通じて、利用者を増やす取り組みが必要となっている。 また、公園内各施設は老朽化が見られるため、改修等の計画的な実施が必要となっている。		
今後の方針	存続(建替え含む) ・ 売却／譲与 ・ 転用 ・ 集約 ・ 複合化 ・ 廃止		
方針概要	耐震補強、建替(縮小含む)、修繕等を実施して存続の方針とする。		
関連他施設等(関係課)			

下田市個別施設計画(第Ⅰ期後期)R7

【施設情報】

施設名	下田市営じん芥処理場	所管課	環境対策課
建築年	1982 年(昭和 57 年)	延床面積	2139.27 m ²
計画期間	短期(第Ⅰ期前期) ・ 中期(第Ⅰ期後期) ・ 長期(第Ⅱ期以降)		
現状と課題	昭和 43 年度、現在地へ移転。昭和 57 年 3 月、現焼却場整備。平成 13 年、高度排ガス処理施設整備。平成 20 年度、焼却炉改良工事。現焼却施設は建設から 40 年経過、耐震診断が行われていない為、耐震性は不明。焼却施設は、連日、高温でゴミを焼却する施設の性格上、設備の劣化が激しい。また、年々、細分化するリサイクルに対応する施設がないなど、今日的なゴミ処理に対応できない施設である。		
今後の方針	存続(建替え含む) ・ 売却／譲与 ・ 転用 ・ 集約 ・ 複合化 ・ 廃止		
方針概要	下田市、南伊豆町、松崎町、西伊豆町の1市3町広域ゴミ処理施設整備について協議を行っていた南伊豆地域清掃施設組合が令和7年度末に解散したため、新たなゴミ処理のあり方について、早期に方針を決定する。		
関連他施設等(関係課)	南豆衛生プラント(一部事務組合所有)		

【施設情報】

施設名	旧吉佐美幼稚園	所管課	防災安全課
建築年	1979 年(昭和 54 年)	延床面積	434.00m ²
計画期間	短期(第Ⅰ期前期) ・ 中期(第Ⅰ期後期) ・ 長期(第Ⅱ期以降)		
現状と課題	耐震性なし。 消防団本部・防災安全課の備品及び文書保管場所、総務課公文書保管場所、福祉事務所(子育て関係)、企画課(ふるさと納税関係)の備品倉庫として利用している。 当初は、消防団本部・防災安全課消防安全係の備品及び文書保管場所を主として活用していくものであったが、現状は、防災安全課での使用部屋も減少し、総務課公文書保管場所としてが主になってきている。 今後は、河内庁舎に近い場所への保管を関係課と協議の上、検討していきたい。		
今後の方針	存続(建替え含む) ・ 売却／譲与 ・ 転用 ・ 集約 ・ 複合化 ・ 廃止		
方針概要	令和元、2年度は、静岡県消防協会賀茂支部の事務局を防災安全課消防安全係が担当するため、その資材を収納する必要があった。この輪番も変更する可能性があることから、消防団、交通安全・防災、賀茂支部事務局の3つの部屋は確保したいという当初の方針であったが、総務課、福祉事務所、企画課が倉庫として使用し、防災安全課の使用する部屋も確保できていないこともあり、今後は、河内庁舎に近い場所への保管も考えているため、所管替えが必要と考える。		
関連他施設等(関係課)	総務課、福祉事務所、企画課		

下田市個別施設計画(第Ⅰ期後期)R7

【施設情報】

施設名	旧白浜幼稚園	所管課	防災安全課
建築年	1979 年(昭和 54 年)	延床面積	434.00 m ²
計画期間	短期(第Ⅰ期前期) ・ 中期(第Ⅰ期後期) ・ 長期(第Ⅱ期以降)		
現状と課題	耐震性なし。 現在は主として防災資材の倉庫として利用している。 特に補修は行っていない。		
今後の方針	存続(建替え含む) ・ 売却／譲与 ・ 転用 ・ 集約 ・ 複合化 ・ 廃止		
方針概要	防災資材の倉庫として必要ではあるが、同等の機能が確保できるのならば、長期的には他施設との集約も検討は可能 施設の老朽化による補修は必要となる。		
関連他施設等 (関係課)			

【施設情報】

施設名	加増野ポーレポーレ	所管課	産業振興課
建築年	1999 年(平成 11 年)	延床面積	202.05 m ²
計画期間	短期(第Ⅰ期前期) ・ 中期(第Ⅰ期後期) ・ 長期(第Ⅱ期以降)		
現状と課題	開設当初より、地元加増野区が管理運営に携わり、中山間地域の振興と地場の農産物を利用した加工販売(もち、味噌等)やそば打ち体験をはじめとする各種体験(石窯ピザ、まんじゅう造り等)を行い設置目的に沿った利用がされていた。 令和6年4月1日に一般社団法人加増野に当該施設を譲渡。施設管理は終了となる。		
今後の方針	存続(建替え含む) ・ 売却／譲与 ・ 転用 ・ 集約 ・ 複合化 ・ 廃止		
方針概要			
関連他施設等 (関係課)			

下田市個別施設計画(第Ⅰ期後期)R7

【施設情報】

施設名	市営多々戸温水シャワー施設	所管課	観光交流課
建築年	シャワー施設 2000 年(平成 12 年) 便所 1987 年(昭和 62 年) 監視塔 1988 年(昭和 63 年) 身障者用トイレ 2000 年(平成 12 年)	延床 面積	シャワー施設 66.0 m ² 便所 32.0 m ² 監視塔 15.0 m ² 身障者用トイレ 6.0 m ² 合計 119.20 m ²
計画期間	短期(第Ⅰ期前期) ・ 中期(第Ⅰ期後期) ・ 長期(第Ⅱ期以降)		
現状と課題	多々戸浜海水浴場に隣接した施設であり、多くの観光客及び市民に年間を通じ利用されている。施設の立地や用途により軽微な故障は発生しているが都度修繕で対応し、現状のまま使用を続け、他にも使用不可となるシャワーが出てくれば施設の建て替えも含めて検討する。シャワー以外の施設は経年劣化が若干見られるものの、大規模な修繕、改修工事は必要なし。		
今後の方針	存続(建替え含む) ・ 売却／譲与 ・ 転用 ・ 集約 ・ 複合化 ・ 廃止		
方針概要	施設の長寿命化を図るため、定期的に点検を行い、不良個所が確認された時点で必要な修繕を実施する。		
関連他施設等 (関係課)			

【施設情報】

施設名	観光交流課所管公衆トイレ	所管課	観光交流課
建築年 延床面積	①長田海水浴場便所(1989 年(H 元)築、33.70 m ²) ②外浦海水浴場便所(1990 年(H2)築、45.50 m ²)、 ③入田浜海水浴場公衆便所(1991 年(H3)築、32.60 m ²) ④白浜大浜海水浴場公衆便所 国道西側(1991 年(H3)築、42.00 m ²) ⑤白浜大浜海水浴場公衆便所 国道東側(1997 年(H9)築、125.75 m ²) ⑥鍋田浜公衆トイレ(1999 年(H11)築、20.24 m ²) ⑦外浦海水浴場公衆トイレ・新(2000 年(H12)築、37.00 m ²) ⑧須崎遊歩道公衆トイレ(2000 年(H12)築、18.74 m ²) ⑨ペリーロード公衆トイレ(2012 年(H24)築、22.00 m ²) ⑩恵比須島公衆トイレ(2014 年(H26)築、24.00 m ²) ⑪田牛竜宮公園公衆トイレ(2000 年(H12)築、21.90 m ²) ⑫爪木崎水仙園公衆トイレ(2008 年(H20)築、33.0 m ²) ⑬須崎公衆トイレ(2021 年(R3)築、26.48 m ²)		
計画期間	短期(第Ⅰ期前期) ・ 中期(第Ⅰ期後期) ・ 長期(第Ⅱ期以降)		
現状と課題	経年劣化が若干見られるものの、大規模な修繕、改修工事は必要なし。 令和2年度において全体的に便器の洋式化改修工事を実施。		
今後の方針	存続(建替え含む) ・ 売却／譲与 ・ 転用 ・ 集約 ・ 複合化 ・ 廃止		
方針概要	観光施設として不可欠な施設であるため、定期的に点検を行い、不良個所が確認された時点で必要な修繕を実施する。		
関連他施設等 (関係課)			

下田市個別施設計画(第Ⅰ期後期)R7

【施設情報】

施設名	旧澤村邸	所管課	観光交流課
建築年	本宅 1915 年(大正 4 年) 蔵 1915 年(大正 4 年) 離れ宅 不詳	延床面積	本宅 249.00 ㎡ 蔵 66.0 ㎡ 離れ宅 31.0 ㎡ 合計 346.00 ㎡
計画期間	短期(第Ⅰ期前期) ・ 中期(第Ⅰ期後期) ・ 長期(第Ⅱ期以降)		
現状と課題	なまこ壁と伊豆石という下田の特徴的な建築様式を用いられた建造物であり、歴史的建造物が多く残るペリーロードに立地することから、多くの観光客が訪れている。 本宅は平成 22 年度に 23,200 千円で、蔵は平成 23 年度に 14,850 千円で耐震補強、室内環境改善工事を実施。本宅は改修工事実施後 8 年以上が経過しており、和室と便所の隣にある空き部屋で雨漏りが発生している。また、シロアリ駆除を平成 26 年度に行ったが、完全駆除には至っていないため、今後も継続した対策が必要。		
今後の方針	存続(建替え含む) ・ 売却／譲与 ・ 転用 ・ 集約 ・ 複合化 ・ 廃止		
方針概要	施設の長寿命化を図るため、定期的に点検を行い、不良個所が確認された時点で必要な修繕を実施する。		
関連他施設等(関係課)			

【施設情報】

施設名	二丁目公衆便所	所管課	環境対策課
建築年	1991 年(平成3年)	延床面積	10.00 ㎡
計画期間	短期(第Ⅰ期前期) ・ 中期(第Ⅰ期後期) ・ 長期(第Ⅱ期以降)		
現状と課題	設置後 30 年経過。 塩害、風害による老朽化が課題。		
今後の方針	存続(建替え含む) ・ 売却／譲与 ・ 転用 ・ 集約 ・ 複合化 ・ 廃止		
方針概要	第1分団第2部詰所のトイレとしても利用されているため、第1分団詰所の再編によっては廃止を検討。		
関連他施設等(関係課)	第1分団第2部詰所(防災安全課)		

下田市個別施設計画(第Ⅰ期後期)R7

【施設情報】

施設名	市民文化会館前公衆便所	所管課	環境対策課
建築年	2011 年(平成 23 年)	延床面積	33.00 m ²
計画期間	短期(第Ⅰ期前期) ・ 中期(第Ⅰ期後期) ・ 長期(第Ⅱ期以降)		
現状と課題	平成23年度に老朽化のため建て替え。		
今後の方針	存続(建替え含む) ・ 売却／譲与 ・ 転用 ・ 集約 ・ 複合化 ・ 廃止		
方針概要	適切な維持管理を行い、損傷等が確認された時点で修繕を行っていく。		
関連他施設等 (関係課)			

【施設情報】

施設名	下田港公衆便所	所管課	環境対策課
建築年	1981 年(昭和 56 年)	延床面積	11.00 m ²
計画期間	短期(第Ⅰ期前期) ・ 中期(第Ⅰ期後期) ・ 長期(第Ⅱ期以降)		
現状と課題	設置後 40 年経過。 塩害、風害による老朽化が課題。		
今後の方針	存続(建替え含む) ・ 売却／譲与 ・ 転用 ・ 集約 ・ 複合化 ・ 廃止		
方針概要	建設課が取り組みを進める「旧下田町地区都市再生整備計画事業(市道大川端通線周辺整備事業)」において検討されている下田港トイレの整備に伴い、廃止予定。		
関連他施設等 (関係課)	建設課		

下田市個別施設計画(第Ⅰ期後期)R7

【施設情報】

施設名	柿崎共同便所	所管課	環境対策課
建築年	1989 年(平成元年)	延床面積	10.00 m ²
計画期間	短期(第Ⅰ期前期) ・ 中期(第Ⅰ期後期) ・ 長期(第Ⅱ期以降)		
現状と課題	設置後 32 年経過。 塩害、風害による老朽化が課題。		
今後の方針	存続(建替え含む) ・ 売却／譲与 ・ 転用 ・ 集約 ・ 複合化 ・ 廃止		
方針概要	適切な維持管理を行い、損傷等が確認された時点で修繕を行っていく。		
関連他施設等 (関係課)			

【施設情報】

施設名	旧樋村邸	所管課	産業振興課
建築年	1971 年(昭和 46 年) ①居宅兼診療所 ②浴室棟 2020 年(令和 2 年) ワーケーション拠点施設として改修 ※旧浴室棟は賃貸借せず	延床面積	R7 時点 286.58 m ² (当初 660.33 m ² R2 一部解体)
計画期間	短期(第Ⅰ期前期) ・ 中期(第Ⅰ期後期) ・ 長期(第Ⅱ期以降)		
現状と課題	遊休化していた当施設を令和2年度に改修し(建物の一部解体、耐震改修、施設改修等)、令和3年7月より、ワーケーションの推進にかかる包括連携協定に基づき、民間事業者が施設の運営を行っていたが、令和7年7月末に運営から撤退。施設運営のあり方を検討している。		
今後の方針	存続(建替え含む) ・ 売却／譲与 ・ 転用 ・ 集約 ・ 複合化 ・ 廃止		
方針概要	施設活用に向け、当該施設の位置づけを整理し、施設運営のあり方を検討していく。		
関連他施設等 (関係課)	企画課		

下田市個別施設計画(第Ⅰ期後期)R7

【施設情報】

施設名	旧須崎保育所	所管課	財務課
建築年	1992 年(平成4年)	延床面積	450.00 m ²
計画期間	短期(第Ⅰ期前期) ・ 中期(第Ⅰ期後期) ・ 長期(第Ⅱ期以降)		
現状と課題	底地は須崎財産区の所有地となっている。地元区との協議の結果、解体を行った。		
今後の方針	存続(建替え含む) ・ 売却／譲与 ・ 転用 ・ 集約 ・ 複合化 ・ 廃止		
方針概要	令和4年度に地元区に最終確認を行い、令和5年度に解体。 災害時の避難場所となっている。		
関連他施設等 (関係課)			

【施設情報】

施設名	下田市シルバー人材センター	所管課	地域福祉課・財務課
建築年	不明	延床面積	166.00 m ²
計画期間	短期(第Ⅰ期前期) ・ 中期(第Ⅰ期後期) ・ 長期(第Ⅱ期以降)		
現状と課題	土地・建物については、使用貸借契約に基づき、(一社)下田市シルバー人材センターに無償貸与している。 建物は耐震性がなく、老朽化しており、駐車スペースも少ないなどの制約がある。 民間施設及び公共施設への移転を検討したが、維持費、他施設の移転計画との兼ね合い、会員の利便性等を理由に移転先は決まっていない。現在地での建替についても、都市計画区域にあたるため不可。		
今後の方針	存続(建替え含む) ・ 売却／譲与 ・ 転用 ・ 集約 ・ 複合化 ・ 廃止		
方針概要	転用又は廃止となる施設への移転を検討する。 移転に伴い現施設は廃止する。		
関連他施設等 (関係課)			

下田市個別施設計画(第Ⅰ期後期)R7

【施設情報】

施設名	旧木村紙器	所管課	企画課
建築年	1928 年(昭和3年)	延床面積	183.32 ㎡
計画期間	短期(第Ⅰ期前期) ・ 中期(第Ⅰ期後期) ・ 長期(第Ⅱ期以降)		
現状と課題	平成 29 年度に所有者からの申入れにより寄附物件として受領した。作業場兼店舗という間取りや外観の意匠は、伝統的な下田の建築様式を残している。 建物は、昭和 3 年建築ということで、老朽化が進んでおり、今後の活用にあたっては耐震性の確保、汚損・破損等の修繕など、相当の改修が必要になる。		
今後の方針	存続(建替え含む) ・ 売却／譲与 ・ 転用 ・ 集約 ・ 複合化 ・ 廃止		
方針概要	本物件は、解体が進む伝統的な下田らしい建築様式を有しており、旧町内の街歩きのための拠点とできる可能性を有している。今後、新しい建物の保存・活用の手法として、まちづくり関係者等との官民協働による建物の保存・活用計画の検討、事業実施を図ることとしていきたい。ただし、建物の状況が悪化していることから、建物の今後の管理方針について、解体等除却も含めて検討を行うものとする。		
関連他施設等(関係課)			

【施設情報】

施設名	旧網代邸	所管課	企画課
建築年	1972年(昭和47年)	延床面積	220.47 ㎡
計画期間	短期(第Ⅰ期前期) ・ 中期(第Ⅰ期後期) ・ 長期(第Ⅱ期以降)		
現状と課題	令和7年度に所有者親族からの申入れにより寄附物件として受領した。建物は、建築年から耐震性はないものと思われ、また空き家になってから経過年数も経っていることから、老朽化や汚損も進んでおり、今後の活用にあたっては耐震性の確保、汚損・破損等の修繕など、相当の改修が必要になる。		
今後の方針	存続(建替え含む) ・ 売却／譲与 ・ 転用 ・ 集約 ・ 複合化 ・ 廃止		
方針概要	本物件を含む隣接地には、消防団詰所と公衆トイレがあり、それぞれ統合による解体やバリアフリー改修の計画を有している。本物件は、下田市の代表的な町割りである「矢折の交差点」にあり、上記3棟(その敷地)を一体とした交流・コミュニティ施設の整備が見込まれることから、事業計画用地として寄附受領したものである。 このため、本物件の取扱いについては、上記の整備計画の検討において整備方針を決定する予定である。(それまでの間は、保全管理を行うこととする)		
関連他施設等(関係課)	消防団詰所(防災安全課)、公衆便所(環境対策課)		

下田市個別施設計画(第Ⅰ期後期)R7

【施設情報】

施設名	旧下田市立下田東中学校	所管課	財務課
建築年	1967年(昭和42年)	延床面積	3,854.00㎡
計画期間	短期(第Ⅰ期前期) ・ 中期(第Ⅰ期後期) ・ 長期(第Ⅱ期以降)		
現状と課題	・2022(R4)年4月1日の新中学校への統合により、同日において学校施設としての用途を廃止した。敷地の一部は借地となっている。 ・体育館は下田市の指定避難所に指定されており、今後も避難所として活用していく。 ・下田警察署の建て替え工事の際の臨時警察署として令和6年3月から土地、建物を賃貸借している。		
今後の方針	存続(建替え含む) ・ 売却／譲与 ・ 転用 ・ 集約 ・ 複合化 ・ 廃止		
方針概要	・下田警察署への賃貸借は令和9年度までとなっており、その後の方針をこの期間で決定する必要がある。体育館部分は指定避難所となっており、災害時には避難所として使用可能となっている。 ・民間利用意向調査(サウンディング)等を実施し、今後の利活用の方針を検討する。		
関連他施設等 (関係課)			

【施設情報】

施設名	旧下田グランドホテル	所管課	建設課
建築年		延床面積	7,541.00㎡
計画期間	短期(第Ⅰ期前期) ・ 中期(第Ⅰ期後期) ・ 長期(第Ⅱ期以降)		
現状と課題	現在のところ、旧下田グランドホテル跡地について記載されている計画がなく、位置づけが不明確である。「下田市緑の基本計画」を策定し、旧下田グランドホテルの利活用について、位置づける。その後、下田公園と一体的な再整備ができないか検討を行う。 解体費用や公園の再整備費用について、優位な補助制度がないか調査の必要がある。		
今後の方針	存続(建替え含む) ・ 売却／譲与 ・ 転用 ・ 集約 ・ 複合化 ・ 廃止		
方針概要	旧下田グランドホテル跡地は、下田公園と一体的な整備を行うことで、平時は市民の憩いの場として利用され、災害時には避難場所等の防災公園として活用したい。		
関連他施設等 (関係課)			